



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エイジス
 コード番号 4659 URL <http://www.aiis.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 齋藤 昭生
 (氏名) 西岡 博之

TEL 043-350-0567

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	17,973	11.2	1,600	29.6	1,604	27.4	1,104	37.8
28年3月期第3四半期	16,159	10.6	1,235	131.0	1,259	120.8	801	157.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,094百万円 (38.4%) 28年3月期第3四半期 790百万円 (132.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	250.88	—
28年3月期第3四半期	173.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,247	10,525	78.5
28年3月期	13,617	9,583	70.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 10,403百万円 28年3月期 9,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,010	9.1	3,096	16.9	3,116	16.0	2,040	15.6	463.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	5,385,600 株	28年3月期	5,385,600 株
29年3月期3Q	982,754 株	28年3月期	982,721 株
29年3月期3Q	4,402,856 株	28年3月期3Q	4,612,937 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復基調が続きました。一方で、欧米や新興国経済の不安定な動向に伴う為替変動などにより、先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましては、消費者の節約志向が継続し、業種・業態を超えた競争の激化および人材確保が困難な状況が続く等、依然厳しい経営環境が続いております。

セグメントの概況は次のとおりであります。

①国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、平成28年5月19日付にて千葉労働局長より、長時間労働については是正指導を受け、企業名が公表されました。その後、指導内容を真摯に受け止め、長時間労働を撲滅すべく労働時間管理の徹底、業務量の平準化および業務の効率化を最優先課題として取り組んでまいりました。その結果、是正指導を受けた平成28年5月以降1ヵ月当たり100時間を超える時間外・休日労働を行った従業員数は8ヵ月間継続して0名となり、労働環境改善に向けた成果は継続的に得られております。

業績面につきましては、「収益力強化」を中期課題と位置づけ、前期より引き続き取り組んでまいりました。重点施策である棚卸閑散期の業容拡大および生産性の改善については、いずれも前期に続き着実に成果が表れました。その結果、売上高は12,142百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益は1,125百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。

②海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、為替変動により減収となりましたが、現地通貨ベースでは引続き売上増加基調で推移しております。利益面では、中国事業全体で黒字転換したことにより収益改善がすすみました。その結果、売上高は1,486百万円（前年同四半期比3.6%減）、セグメント利益は132百万円（前年同四半期比92.2%増）となりました。

③リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、第1四半期における連結子会社の合併効果により、売上増加基調で推移しております。売上高は4,344百万円（前年同四半期比55.7%増）、セグメント利益は327百万円（前年同四半期比53.1%増）となりました。

これらの結果から、当第3四半期連結累計期間における売上高は17,973百万円（前年同四半期比11.2%増）、営業利益は1,600百万円（前年同四半期比29.6%増）、経常利益は1,604百万円（前年同四半期比27.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,104百万円（前年同四半期比37.8%増）となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は13,247百万円（前連結会計年度比2.7%減）となりました。これは、主として第3四半期連結会計期間は閑散期につき売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,721百万円（前連結会計年度比32.5%減）となりました。

これは、主として閑散期による給与の未払金の減少および法人税の納付により未払法人税等が減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は10,525百万円(前連結会計年度比9.8%増)となりました。これは、主として配当金の支払により利益剰余金が減少したものの親会社株主に帰属する四半期純利益獲得により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績経過は概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での通期の業績予想につきましては、平成28年5月10日に発表いたしました「平成28年3月期決算短信」に記載の業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,512,234	6,276,633
受取手形及び売掛金	3,410,634	2,346,387
貯蔵品	53,114	48,317
その他	483,407	406,693
流動資産合計	9,459,391	9,078,031
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	822,752	864,896
有形固定資産合計	2,099,147	2,141,291
無形固定資産	471,656	435,897
投資その他の資産		
その他	1,587,993	1,592,558
貸倒引当金	△838	△648
投資その他の資産合計	1,587,155	1,591,910
固定資産合計	4,157,959	4,169,099
資産合計	13,617,351	13,247,131
負債の部		
流動負債		
短期借入金	93,393	89,226
未払金	2,066,521	1,690,758
未払法人税等	682,602	76,323
賞与引当金	393,716	191,958
役員賞与引当金	14,316	9,123
その他	695,704	569,280
流動負債合計	3,946,254	2,626,671
固定負債		
退職給付に係る負債	1,638	2,203
その他	86,303	92,865
固定負債合計	87,942	95,069
負債合計	4,034,196	2,721,741

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	492,554	491,820
利益剰余金	11,035,939	11,920,391
自己株式	△2,463,335	△2,463,508
株主資本合計	9,540,157	10,423,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,686	41,790
為替換算調整勘定	△20,036	△61,927
その他の包括利益累計額合計	16,649	△20,136
非支配株主持分	26,347	121,823
純資産合計	9,583,154	10,525,389
負債純資産合計	13,617,351	13,247,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	16,159,243	17,973,249
売上原価	11,868,592	12,908,846
売上総利益	4,290,650	5,064,402
販売費及び一般管理費	3,055,235	3,463,781
営業利益	1,235,415	1,600,621
営業外収益		
受取利息	4,941	4,709
受取配当金	7,695	6,019
受取賃貸料	21,049	16,527
物品売却益	6,277	5,177
その他	16,846	12,371
営業外収益合計	56,810	44,806
営業外費用		
支払利息	1,079	438
為替差損	994	30,084
賃貸費用	9,715	8,834
自己株式取得費用	18,272	—
その他	3,127	1,507
営業外費用合計	33,189	40,864
経常利益	1,259,036	1,604,562
特別利益		
投資有価証券売却益	44,356	—
特別利益合計	44,356	—
特別損失		
固定資産除却損	4,254	3,014
事業撤退損	49,080	—
特別損失合計	53,335	3,014
税金等調整前四半期純利益	1,250,057	1,601,548
法人税等	433,064	470,080
四半期純利益	816,992	1,131,468
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,483	26,872
親会社株主に帰属する四半期純利益	801,509	1,104,596

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	816,992	1,131,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,112	5,104
為替換算調整勘定	△38,255	△42,319
その他の包括利益合計	△26,143	△37,215
四半期包括利益	790,849	1,094,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	775,652	1,067,810
非支配株主に係る四半期包括利益	15,196	26,443

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,826,991	1,541,421	2,790,830	16,159,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	47,046	—	23,171	70,218
計	11,874,037	1,541,421	2,814,002	16,229,461
セグメント利益	947,514	69,173	214,146	1,230,833

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,230,833
セグメント間取引消去	4,581
四半期連結損益計算書の営業利益	1,235,415

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	12,142,822	1,486,347	4,344,079	17,973,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	55,316	—	187,546	242,863
計	12,198,138	1,486,347	4,531,626	18,216,112
セグメント利益	1,125,545	132,925	327,777	1,586,247

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,586,247
セグメント間取引消去	14,373
四半期連結損益計算書の営業利益	1,600,621

以 上